

学校教育目標

＜生徒の実態と学校の課題＞

- 素直な生徒が多く、課題や自分の役割に対して、真面目に取り組むことができる。
- 仲間を思いやる気持ちが強く、共に高まろうとすることができる。
- ICT機器を活用して進んで学ぶ姿が定着してきている。

△基礎学力の定着にばらつきがあり、仲間と共に学び深める姿勢を身に付ける必要がある。

△学校という社会で、集団生活や自治について学び、よりよい社会にしようとする姿勢を養う必要がある。

分かりあって生きる
鍛えあって伸びる
志 ふつふつと

＜めざす学校像＞

- ◆活力あふれる学校
- ◆進取の気性に富む学校
- ◆いじめを許さない気運が高まる学校

＜めざす生徒像＞

- ◆学校生活に高みをめざす生徒
- ◆仲間とともに 自ら学ぶ生徒
- ◆信念をもち困難に立ち向かう生徒
- ◆相手を思いやる心をもつ生徒

＜羽島市学校教育の方針＞

- 学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。
- 全てのこどもたちが、自己の力を主体的に発揮して、学ぶ意義や喜びを実感する。
- 地域の強みやネットワークを生かし、身近な社会の問題を解決する探究的な学びを推進する。
- いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、早期に組織的な対応・支援を行う。
- 不登校傾向のある児童生徒への学校復帰・社会的自立に向けた、誰一人取り残さない支援を充実する。

＜学校経営の方針＞ R7キーワード 「主体性」と「社会性」の育成

1. 「チーム中島」として、お互いの“強み”を結集することで、学校全体の教育力を向上させる。
2. 共生社会を積極的に形成しようという心と力をもった生徒の育成を図るため、「インクルーシブ教育」の考え方を大切にする。
3. いじめをゆるさないという確固たる信念をもち、互いを信頼し、互いに指摘し合える“自浄力”をもつ集団の育成を図る。
4. 人と人とのつながりが深い中島の地域性を生かし、家庭や地域との協力体制を強め、連携を深めることで、安心安全な学校づくりを行う。

重点	豊かな心とよりよい人間関係の育成	基礎学力の定着と主体的・対話的に深く学ぶ力の育成	安心・安全な生活と健やかな身体の育成
R7目標	自己肯定感や自己有用感をもち、自分らしさを発揮しながら、仲間と協調し尊重し合って生活できる生徒を育てる。	問題や疑問を見つけ、解決の見通しをもち、仲間とともに主体的に学ぶことを通して、確かな学力を身に付けた生徒を育てる。	めあてをもって体力や心身の健康を高めるとともに、命を守るために自ら判断し行動できる生徒を育てる
R7具体的方策	①自己肯定感、他者肯定感を育む人権教育（学級経営、人権デー、キラリスト活動など） ②自分ごととして捉え、考え議論する道徳教育の推進 ③ねらいを明確にした生徒主体の自治的活動の充実（行事、生徒会活動等） ④望ましい職業観の育成や目標をもたせる指導（含アンケートや教育相談） ⑤ボランティア活動および地域・保護者の力を生徒の教育に生かす活動の推進（琴、クリーン作戦、絆会議など）	①「魅力ある導入」と「学びを深める対話活動」を位置付けた授業改善 ②インクルーシブ教育の考え方のもと、個に応じた指導・援助の工夫と充実 ③学習5項目を手段とした学び方（含む学習姿勢）の育成 ④授業のねらい達成のために、リアルとデジタルを併用した「個別最適な学び」や「協働的な学び」の推進 ⑤家庭学習定着への働きかけ	①計画的な教育相談や意図的な教育アンケートによる的確な状況把握と支援（個の内面に寄り添った指導） ②命を守る訓練を通して、地震、火災などに対する危機回避能力や防災に関する知識の習得 ③「保健、安全、食、運動、環境衛生」の指導による健康意識の向上 ④不登校や心の悩みを抱えた生徒への外部機関も含めた教育相談体制確立 ⑤ホームページによる生徒の活動や学校の様子の情報発信
評価指標	・仲間を大切にし、いじめを許さない学校か 95% ・自分にはよいところがある 85% ・4本柱を意識し、学校生活をより良くしようと努力した 90% ・将来の夢や目標がある 80% ・地域行事やボランティア活動に参加している 80%	・やる気を引き出すわかりやすい授業だった 85% ・授業では、自分の考えや仲間の考えを交流する活動があった 90% ・先生たちは、わかるまで教えてくれていると思う 85% ・家庭学習（宿題、塾を含む）を1時間以上している 80%	・学校が楽しい 80% ・災害や交通事故に対して、自分の命を自分で守る力が身についている 80% ・生徒や保護者が気楽に相談できる学校である 85% ・学校の様子や緊急時の連絡が適切である 80%
担当	仲間と築く部会 特活主任 道徳主任 人権教育主任 進路指導	学びを高める部会 研修主事 研究推進委（学力向上委）	生徒指導 教育相談 いじめ・不登校未然防止対策委員会

特別支援教育の充実

校内研修や特別支援学級での具体を通して、専門性を向上させ、個別最適な授業を目指しながら、特別支援教育を推進する。

働き方改革 愛情と情熱に満ち溢れる職員集団

＜めざす職員像＞

- ◆生徒と保護者を第一に考える職員
- ◆互いを尊重し合い協力し合う職員
- ◆向上心をもち続け、努力と創意工夫を絶やさない職員
- ◆真の働き方改革に真摯に向き合う職員

実現のための具体的方策

- ①生徒や保護者に寄り添った指導（認め励ます指導の徹底）
- ②研修や授業公開の定期的な実施
- ③ICTを利用するなど、超過勤務時間の減少への工夫
- ④安全点検や個人情報の扱い、ハラスメント防止、交通事故防止への意識向上